

春の県民大
集会準備す
すむ！

安倍政権の暴走をみんなの力でストップ！ 県民要求3.16茨城大集会

「安倍政権の危険な暴走をストップさせよう」の声に、多くの県民から賛同の声が上がっています。安倍政権は、4月から消費税を3%アップして8%にする一方、大企業には震災復興税の免除とさらなる減税です。昨年末の秘密保護法の強行可決、今国会で狙っている「集団的自衛権の行使容認」など、戦争する国づくりも強行しようとしています。

しかし私たちは黙ってはいられません。秘密保護法反対の取り組みは短期間に全国に広がり、全国ネットワークが結成されました。茨城でも学習会やデモ、集会在各地で開催されています。また消費税増税、TPP参加、労働法の改悪、年金改悪、社会保障の改悪、沖縄米軍基地問題、医療・介護・教育等、様々な点で憲法を否定する改悪の動きに対して、地域の連絡会や実行委員会の結成もあいついでいます。原発の再稼働を許さない取り組みも脈々と続いています。東京都知事選挙でも、舛添氏211万票、宇都宮氏98万票、細川氏95万票という結果でしたが、3候補とも、原発については「推進しない」もしくは「脱原発」でした。

国政選挙が間近にない中、私たちの要求実現の大きな力となるのは地方選挙への参加です。さらにデモや集会です。私たちの声が世論を作ります。また私たち平和運動の活動強化のためにも、この県民大集会を成功させることが重要です。



- * 主催 3.16県民大集会実行委員会（14団体）
- * とき 3月16日（日）
 - 11：30 トークライブ、歌、模擬店等
 - 13：00 集会開会 主催者挨拶 リレートーク等
 - 14：00 デモ出発
- 旧県庁前～50号線～大工町前交差点（解散）
- * ところ 水戸三の丸旧県庁前広場

「憲法フェスタ・2014」は、今年も水戸・はなみずき公園で 「戦争はイヤ！～未来につなごう平和憲法～」



をスローガンに

昨年11月11日(月)に準備会（第1回事務局会議）、12月13日（金）に第1回実行員会を開催しました。前後6回の協議を重ね、憲法フェスタの形がはっきりしてきました。

憲法を取り巻く情勢は「安倍内閣の改憲に向けた暴走ストップ」です。「秘密保護法」、「国家安全保障法」の可決や、「集団的自衛権の行使」、沖縄普天間基地の辺野古移転の緊迫化など「戦争のできる国づくり」の動き、原発の再稼働・輸出の動き、消費税増税、TPP問題、社会保障の大幅切り下げと公助の否定など、「明文改憲」を視野に入れた「解釈改憲」「立法改憲」の動きが急になっています。

メインゲストの「八法亭みややっこ（飯田美弥子弁護士）さん」による、「憲法落語」をメインに、高校生ジャズバンド、水戸藩YOSAKOI！連も参加します。

昨年同様「憲法川柳」を募集します。さらに「憲法9条ポスター（A2版以上、またははがき大）」も募集します。奮って応募して下さい。

チラシ、ポスターは3月6日（木）に開催される、第3回実行委員会（水戸市国際交流センター 18：30～）で配布予定です。

多彩な地域の活動、 困難な取りくみを語り学ぼう！ ～ 県活動交流集会のお知らせ ～

とき：3月30日（日）
午前10時から午後4時30分まで
ところ：県立青少年会館（中研修室1, 2）
内容：地域の仲間づくりの運動と経験交流。
会の進め方については、代表理事で検討中。

※ 各平和の会（平和委員会）は、複数参加をお願いします。

【お願い】

- 「活動交流集会是、常任理事・理事はもちろん、役職に関わらず、日常活動を進めている多くの仲間の皆さんの参加が重要です。
- 活動の成功例だけでなく、困難な問題やうまく行かなかった事、気がついた事など、各平和の会（平和委員会）の仲間の豊富な経験のこうりゅうと討議で全体のものとし、今後の活動に生かしたいと考えます。
- 参加を幅広く呼び掛けて下さい。

立憲主義否定の安倍改憲発言

勝手な解釈変更は許されない！

○ 海外での戦争を可能にする集団的自衛権の行使容認について、「最高責任者は私だ。選挙で国民から審判を受けている。」「政府が新しい解釈を明らかにすることによって可能だ」として保守政治なりの節度も投げ捨てた安倍政権！これを許さない共同の運動を盛り上げよう！



平和新聞

2014年2月25日（火曜日）
2040号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
（郵送料月額120円）電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版 No. 678
2014.2/25
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

2015年NPT再検討会議NY行動にむけ、核兵器 廃絶の大波を起す3.1ビキデーを成功させよう。

ビキニ水爆実験の被災から60年。2014年2月18日3・1ビキニデーが目前に迫りました。ことしのビキニデーは、2015年の次回NPT再検討会議に向けて、核兵器の廃絶をめざす日本と世界の世論を大きく盛り上げ、国際政治を核兵器廃絶へと動かしていくための一大決起の場です。そして、日米軍事同盟強化と改憲にひた走る日本の政治を、非核平和の方向へと大きく転換させていく運動の結集点です。

当日の集会はマーシャルのビキニ水爆実験被災60周年記念集会とライブ放送が予定しています。日本原水協支援交流団が登場するかも？

その他、沖縄からはやんばる同一代表の吉田さんが名護

に闘いを語ります。新基地反対建設の阻止を訴えます。海外から非同盟運動のインドネシアの軍縮大使（招聘中）、前回NPTニューヨーク行動の共同責任者でアメリカフレンズ奉仕委員会のジョゼフ・ガーソンさん、非核フィリピン連合のマラヤ・ファブロスさん、フランス広島・長崎研究所の美帆シボさんが参加します。また、当日はロシア・チェリャビンスクの核汚染ドキュメンタリー映画「不毛の地」が上映されます。

被災60年3・1ビキニデーの成功へ、青年を送るために地域原水協、平和行進実行委員会、特に平和委員会、新婦人の会のみなさんに全力を挙げた参加と代表派遣の取り組みの強化を呼びかけます。

東海第二原発は絶対廃炉に！！

2月17日(月)「東海第二原発再稼働阻止・廃炉をめざす県民センター（略称・県民センター）」が、水戸市新荘市民センターで開催されました。

○安全審査申請方針の撤回を申し入れる

昨年11月17日、県民センターは「県知事宛て廃炉署名」第7次提出で、総計30万4063筆を集約しました。また東海第二原発再稼働審査申請（2/4付読売）に対し、2月10日(月)「日本原電に安全審査申請方針の撤回を求める要請」を、県平和委員会を含む6団体で申し入れました。

日本原電は「申請書類を整えている段階」して、新聞報道は「誤報だ」といいます。しかし社内的には、工事期間1～2年、数百億円かかる「防潮堤」予定地の地質調査を行っており、久慈川側と国道245号線側の保安林解除申請を考えています。またフィルター排気塔の工事等進めています。さらに、対策の内容や進捗状況を説明した大判のカラー刷り資料を、近隣市町村に数度にわたって大量に配布しており、「再稼働の姿勢は明白」です。

東海第二原発再稼働反対・廃炉の請願・陳情の採択は22自治体です。「脱原発をめざす首長会議」は39都道府県内94名

（元職24名）の首長が参加し、茨城では小美玉市、常総市、北茨城市、かすみがうら市、城里町、美浦村の6市町村長、村上前東海村村長が参加していますが、新たに石岡市長が加入の準備をしています。

○県は「避難計画」の年度内策定を断念

県は、東海第二原発の過酷事故を想定した広域避難計画について、原発からおおむね30km圏内の「緊急時防護措置準備区域（UPZ）」に入る14市町村約98万人の避難計画の年度内策定を断念しました（2/15付茨城）。一方、県は「茨城県広域避難計画に係る勉強会」を関係機関26団体及び市町村の担当者と9月以来2週間に1回程度開催しています。最近では2月14日に開催されましたが、そこに記載された「避難先の地域の設定」では、東海村民3万7千人全員が石岡市に避難、水戸市の27万人は、常総市4万、つくば市4万など、12市町に分散避難するようになっており、文字通り机上の空論となっています。

○たたかいはこれから！！

県民センターでは、チラシの配布、新署名の提起、県広域避難計画案の勉強会の開催、30km圏内自治体への要請等の運動を強化することとしました。次回の役員会で討議し、提起します。

「くらしと平和を守るネットワーク取手」正式に発足！

これまでの「10・21国際反戦デー取手北相馬地区集会」の伝統を引き継ぎ、さらに拡げ発展させるため恒常的な運動の連絡組織をつくろうと、地域の労働組合、民主団体、平和団体、有志が昨年準備をすすめてきました。

折しも「特定秘密保護法」が国会に上程された時期でした。準備会ではとにかく「秘密保護法の廃案」が緊急の課題とし、数回にわたって駅頭宣伝・署名行動、街頭宣伝、日比谷での中央集会に取り組んできました。

2月1日には正式に発足の集いを行いました。

予定した机・椅子が足りないほどの部屋いっぱいの参加者約100名。12団体からの参加となりました。

記念講演は「秘密保護法とジャーナリズムの役割」と題して中日新聞の植木幹雄氏が行いました。

第2部では発足の経過報告のあと「くらし・平和に関して一点共闘しよう」「安倍内閣の暴走をとめよう」などネットワーク取手の発足提案がされました。その後役員や申し合わせ事項なども提案され、参加者の大きな拍手で承認されました。

今後、月1回の役員会を開き、緩やかな運動組織として「くらし・平和」に関わって広範な人々との共同をすすめ、活動・交流・情報提供を行う予定です。

（ふじしろ平和の会 根本和彦）

仲井間知事への追求と辞任の圧力

「承認」追求へ百条委員会

沖縄県議会の2月定例会が14日召集された。米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設に向けた仲井間弘多知事の埋め立て承認について、野党側が「県民への説明責任が全く果たされていない」として、承認の経緯を審議する調査特別委員会（百条委員会）を設置する緊急動議を提出し、社民・県民ネット・共産・社大の野党4党派と中立派そうぞうによる賛成多数で可決した。

（2月15日付け『琉球新報』）